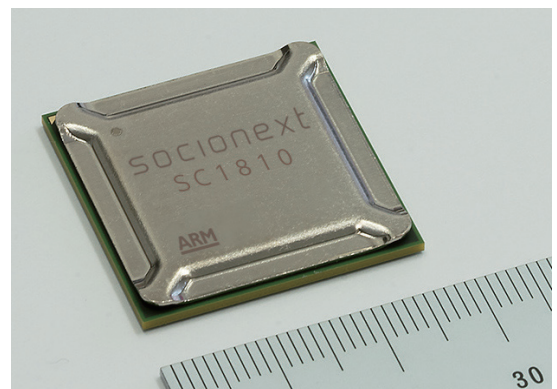


世界初、OpenVX 対応ハードウェア・アクセラレーター搭載 高性能グラフィックス・ディスプレイ・コントローラーを開発

組込み機器向けコンピューター・ビジョン分野に新しいソリューションを提供

[横浜発、2017年3月2日] 株式会社ソシオネクスト (Socionext Inc.) は、高性能グラフィックス・ディスプレイ・コントローラーの第4世代となる「SC1810」シリーズを開発しました。SC1810は当社が豊富な実績を持つ車載ディスプレイシステム向けグラフィックス機能をさらに強化するとともに、世界で初めて、クロノス・グループ (Khronos™ Group) のコンピューター・ビジョン向け標準 API 「OpenVX™」に対応するハードウェア・アクセラレーターを搭載しました。車載システムはもとより、家庭用・産業用のさまざまな組込み機器向けに高性能で低消費電力な画像認識ソリューションを提供します。SC1810のサンプル、および SDK (ソフトウェア開発キット) は2017年4月より提供を開始します。

SC1810は、当社が豊富な実績を持つ車載向けグラフィックス・ディスプレイ・コントローラーの機能および性能をさらに進化させた新製品です。3D画像処理性能を従来品より5倍に向上させた高精細なグラフィックス機能に加え、6チャンネルの Full HD ビデオ入力、3チャンネルの Full HD ディスプレイ出力に対応し、多彩な入出力制御を可能にしました。車内外のさまざまな情報を管理し、複数ディスプレイへの表示を一元的に制御する「統合 HMI (Human Machine Interface) システム」をより高精細・高画質な画像で実現します。



写真：SC1810
([クリックで拡大](#))

これに加えて、SC1810は、標準化団体クロノス・グループ (Khronos Group) が策定したコンピューター・ビジョン向け API「OpenVX」に対応する当社独自開発のビジョン・プロセッサー・ユニット (Vision Processor Unit、以下 VPU) を搭載しました。SC1810のVPUにはプログラム可能な「データ並列アク

【報道関係者お問い合わせ先】

株式会社ソシオネクスト 経営企画室

電話: 045-568-1006

お問い合わせフォーム: <http://socionext.com/jp/contact/>

セラレーター」と共に OpenVX 対応では世界で初となる「ハードウェア・アクセラレーター」が含まれ、画像認識に必要なコンピューター・ビジョン処理を高速・低消費電力で実現します。当社ではこれまで、グラフィックス・ディスプレイ・コントローラーをベースとしたソリューションとして、車両の全周囲を自由な視点かつ立体的な映像で確認できる全周囲立体モニタシステム「OMNIVIEW」や、カメラ画像の分析により自転車や歩行者などの接近物をドライバーに知らせる「接近物検知機能」を提供してきました。SC1810 は専用 VPU の搭載により、これらの機能・性能を向上しつつ画像認識機能を拡張できるようになりました。さらに、複数チャンネルのカメラ映像を同時に処理できる H.264 コーデックも搭載しており、急速に普及しているドライブレコーダーの全周囲録画に対応します。

OpenVX は、ハードウェアベンダーにより実装されることを前提としたオープン標準な API で、パフォーマンス・テストが準備されており、商用利用に最適なプラットフォームです。すでにニューラルネットワークへの拡張仕様もリリースされており、今後コンピューター・ビジョンを必要とする幅広いアプリケーションを牽引する API になると考えられます。当社は OpenVX に対応した SC1810 により、車載向けはもとより、家庭用・産業用のさまざまな組み込み機器向けに画像認識を始めとするコンピューター・ビジョン分野の幅広いソリューション提供が可能になりました。今後、ライブラリーの拡充を図りながら、ますます発展するコンピューター・ビジョン分野での進化と成長を目指します。

クロノス・グループのコメント

フランク・ブリル (Frank Brill) 氏 (「OpenVX ワーキング・グループ」チェア、Cadence Design Systems デザイン・エンジニアリング・ディレクター)

「OpenVX を用いることでアプリケーション開発者は、高性能かつ低消費電力な組み込みビジョン機能を搭載した、製品の開発から市場投入までの過程を、迅速に行うことが可能です。ソシオネクストが今回発表された SC1810 は、高度に最適化されたユニークなハードウェア・ブロックにアクセスするために、パブリックで IP フリーな標準 API である、OpenVX の強みが十分活用されています。ソシオネクストは、OpenVX 準拠の製品開発を通して OpenVX の普及に貢献されており、私は今回の製品発表を祝福するとともに、同社の OpenVX 標準に基づいたビジョン・ベースの製品の普及に期待しています」

OpenVX コンFORMANCE・テストの結果は以下に掲載されています：

<https://www.khronos.org/conformance/adopters/conformant-products#openvx>

SC1810 シリーズの主な仕様 :

CPU	ARM® Cortex™ A9 Quad 1066MHz
3D エンジン	OpenGL ES PowerVR™ Series8XE GPU
2D エンジン	SEERIS® 当社独自 IP
画像認識エンジン	OpenVX™ Vision Processor Unit (VPU) 当社独自 IP
ディスプレイ・コントローラ	3 出力 1920 x 1080p (最大) RGB、YUV、FPD
ビデオ・キャプチャー	6 入力 1920 x 1080p (最大)
メモリ	DDR3/3L 1866MHz (最大) 32bit, 64bit
コーデック	H.264 コーデック、Motion-JPEG Decoder
周辺インターフェース	I2C、I2S、UART、USART、ADC、HS-SPI、SPI、USB2.0、SD/eMMC、FPD-Link、MIPI-CSI2、CAN、EthernetAVB、MediaLB

ソシオネクストについて

株式会社ソシオネクスト (Socionext Inc.) は、SoC (System-on-Chip) の設計・開発および販売を事業とする新しい企業です。映像・イメージング、ネットワークおよびコンピューティング分野における世界トップレベルの技術を核に、今日のさまざまなアプリケーションの進化を支えます。長年培った技術力と経験、さらに豊富な IP ラインナップをベースに卓越したソリューションを提供し、人々の豊かな体験 = better quality of experience の実現に貢献します。2015 年に設立された株式会社ソシオネクストは横浜市に本社を置き、日本国内、アジア、米国およびヨーロッパの各拠点において製品開発および販売活動をグローバルに展開しています。詳しくは socionext.com/jp をご覧ください。

記載されている会社名、製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。プレスリリースに記載された内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

Khronos, OpenVX は Khronos Group Inc. の商標です。

PowerVR は、Imagination Technologies Limited の商標です。

SEERIS は、株式会社ソシオネクストの登録商標です。

その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。